

世界に羽ばたく
科学系人材の育成!

小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第6号 H27年1月
編集 : SSH推進委員会
発行責任者 : 太田淳子

韓国科学交流 part 2



12月14日(日)～17日(水)の3泊4日の行程で、本校から理数科2年生19名と引率教諭4名が、韓国大田(テジョン)科学高校との科学交流を行いました。

《 日程 》

- 14日 小松高校 → 韓国・大田市へ 歓迎夕食会など (大田市泊)
- 15日 大田科学高校にて科学交流(研究発表、校内見学など)
韓国先端科学技術大学(KAIST)、韓国電子通信研究院(ETRI)を見学 大田市 → ソウル市へ(ソウル市泊)
- 16日 国立果川科学館、ソウル大学を見学 (ソウル市泊)
- 17日 ソウル市 → 小松高校へ

14日(日) 10:00に小松空港に集合し、飛行機、バスなどを乗り継いで17:30に韓国・大田科学高校に到着しました。大田科学高校では生徒、教職員の方々が出迎えてくれ、その後、歓迎の夕食会をしていただきました。

15日(月) 午前は、大田科学高校で科学交流を行い、課題研究「化学発光における反応収率に関する研究」、「野菜の煮汁における生重量変化とその原因」の発表と、両校の共同研究「サイクロイド曲線を使った先進的な屋根の形の研究」、「下駄の歩行安定性と物理的寸法の関係」の成果発表を行いました。午後にはKAISTやETRIを見学し、研究の様子や情報通信などについての講義を受けました。

16日(火) 午前国立果川科学館を訪問、見学しました。また午後にはソウル大学を訪問し、大学の担当の方に構内を案内してもらいました。

17日(水) 早朝6:00にソウル市内のホテルを出発しましたが、雪のためソウル～小松便がキャンセルとなり、関空経由で帰国しました。関空からはまた雪道で、学校着は深夜12:30になりましたが、みんな元気に帰宅しました。



課題研究発表



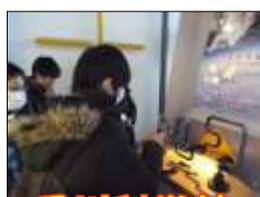
共同研究発表



KAIST



ETRI



果川科学館



ソウル大学

《生徒の感想》

- 英語で外国人にプレゼンを行うのは初めてだったので、貴重な経験になった。
- プレゼンの準備は想像以上に大変だったけど、メンバーと協力して大田科学高校の方々に発表できた。世界で活躍するには英語力やコミュニケーション力がとても大事だと思った。

石川県SSH生徒研究発表会

12月12日(金)に石川県文教会館で、石川県のSSH指定校3校(金沢泉丘高校、七尾高校、小松高校)とNSH(いしかわニュースーパーハイスクール)指定校の金沢二水高校と金沢桜丘高校が参加して、石川県SSH生徒研究発表会が行われました。本校からは、11月の校内選考会で選ばれた2グループ「最も折りやすい紙の折り方とは」「野菜の煮沸における生重量変化とその原因」が代表としてステージ発表を行いました。また、ステージ発表の合間にはポスター発表も行われました。



ステージ発表



ポスター発表

「総合科学」特別講演会

12月9日(火)に北陸先端科学技術大学院大学特任教授の國藤進先生に來校していただき、1年理数科40名を対象に「課題研究のテーマ設定に関して」というテーマで特別講義とワークショップをしていただきました。



コアSSH「鹿児島モデル」推進 第2回研究会

12月6日(土)に鹿児島大学で、鹿児島県立錦江湾高等学校主催のコアSSH『「課題研究支援ネットワーク」と「教育資源活用プログラム」による中核的拠点形成～ダイコンコンソーシアムを発展させた「鹿児島モデル」の推進～』に関する研究会(第2回)が行われ、本校から生物部の生徒2名が参加しました。この研究会では、午前に関連校17校によるポスター発表が行われ、本校は「小学生講座の取り組みについて」と「源助ダイコンについての研究」の発表を行いました。午後は生徒交流会として市立科学館で行われた出前授業「小学生向け実験教室」に参加し、鹿児島の小学生に実験指導を行いました。



ポスター発表



小学生向け実験教室

石川県中学高校生徒研究発表会(生物・物理・化学)

12月6日(土)に金沢西高校で石川高校生物のつどいが行われ、本校からは生物部の生徒が参加し、生物部の活動についての発表を行いました。

12月14日(日)に金沢泉丘高校で石川県中学高校生徒物理研究発表会が行われ、本校からは課題研究で物理分野の研究をした「スーパーボールの運動解析」と「ビン形気柱の固有振動」のグループが参加し、発表を行いました。

12月23日(火・祝)には石川県教育・自治会館で石川地区中学高校生徒化学研究発表会が行われ、本校からは課題研究で化学分野の研究をした「化学発光における反応収率に関する研究」と「色素増感太陽電池における電解質溶液の溶媒の検討」のグループが参加し、発表を行いました。

日本地学オリンピック

12月21日(日)に日本地学オリンピックの予選が行われ、本校からは理数科2年生の福島諒さんが挑戦し、見事通過しました。本選「グランプリ地球にわくわく」は3月に茨城県つくば市で開催されます。がんばってください。

日本数学オリンピック

1月12日(月・祝)、石川県勤労者福祉文化会館にて日本数学オリンピックの第1次予選がおこなわれました。本校からは、今年度は1年生5名、2年生10名が参加し難問に挑戦しました。

平成26年度最終号となりました。今年度は、3年生普通科で「科学探究」の研究授業があり、普通科に対してもSSHの研究が本格化しました。2年生の「課題探究」は、今年度も各グループが競い合って研究を行い、高いレベルを維持しています。各種の発表会でその成果が発表され、全国SSH生徒研究発表会ではJST理事長賞も受賞しました。1年生も「科学の甲子園」石川県予選で好成績をあげ、大活躍の1年間でした。来年度もがんばって、毎日の勉強に、研究に取り組んでほしいと思います。